

▼「宇治市保健医療センター」が完成。8月12日から1階の休日急病診療所で診療を開始。



# '79 宇治市のあゆみ

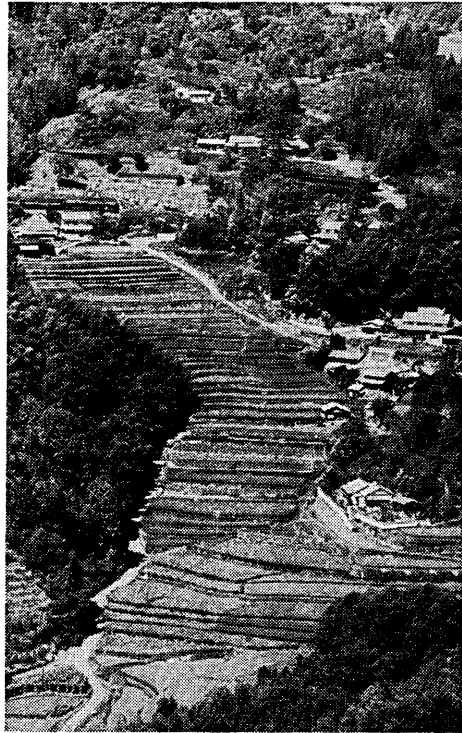
四月には、激戦のうち三十二人の新市誕生。八月は宇治高が甲子園に初出場。市の人口も十五万人台へ。また、全館の休日急病診療所が市役所前にオープン。十月からは菟道第二小学校全面移転改築工事はじまる。そよがけ号新車に……。とさまざまな足跡が刻まれました。一方財政自主再建計画も市民のご協力に支えられ、円滑に遂行できるとともに計画期間を一年短縮する見込みを得ました。

ところで、今年は「国際児童年」でした。市少年少女合唱団の結成や子ども校庭運動の開催などに取組みましたが、今後子どもを尊重し大切に育んでいきたいと思えます。



▲宇治高野球部が甲子園へ初出場。京都大会で初優勝しパレードするサイン(七月三十日)。

菟道第二小学校の全面移転改築工事開始(10月)。鉄筋四階建て校舎は来年春完成の見込み。



斜面の耕地が美しい東笠取の集落

## 宇治市史 第五巻

### 宇治川東部の生活と環境

変わりゆく地域の暮らし

その原点を探る

12月24日発売



発行所 宇治市役所  
京都府宇治市宇治路33番地  
電話 314119  
印刷所 新進堂印刷

市の人口  
(昭和54年12月1日現在)  
世帯数 44,194世帯  
前月比 69世帯増  
人 150,605人  
男 75,568人  
女 75,037人  
前月比 182人増

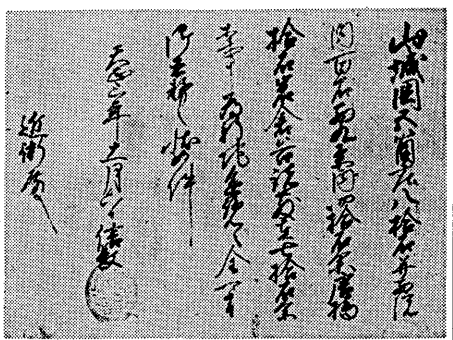
面積 67.29平方キロメートル

「宇治市史」第五巻がいよいよ二十四日から発売されます。

第五巻は、宇治川東部の生活と環境を地理・歴史・民俗の諸資料によって立体的にとらえようとしたものです。

私達の宇治にとって、市域のほぼ中央を貫く宇治川の流れは、古くから現代にいたるまで多大な影響を与えてきました。それは、各時代の歴史・景観の移り変わりを明らかにしてきた既刊の『宇治市史』第一巻から第四巻を貫き、いっきでもあつたわけですが、

一応の終止符をうつた現在、ここで視点を委ね、今一度宇治川



近衛家領五ヶ庄を安堵(あんど)した織田信長の朱印状

が集めた役割を見ます。この大河川によって東西に分かれた二の地域の立地条件や生活史の差異を明らかにするものになりました。これが、「景観」と題する今回の第五巻および次の第六巻です。

地域をいっさい第五・第六巻は、

(1) 地層と航空写真の対照による時代と景観の移り変わりを景観や地形のあり方をな

た「景観と環境」

(2) 地元に関わる深い古文書や日記を基として各段の歴史を浮き彫りにせよとした「生活文化」

(3) 失われたふる里の風俗・習慣・信仰の生きた由来を収集し、先人の生活史の一端を明らかにしようとした「買付伝承」

という頭によって各地域の歴史を成されています。あくまで地誌の生活史としての第五・第六巻は、あくまで従来の地方史観にとらえて行かれた史料とは、全く異なるものになります。

今回刊じた第五巻「宇治川東部の生活と環境」は、地理的・歴史・民俗の諸資料によって立体的にとらえようとしたものです。

◆ 本誌の発行：全判 縦横 210×280mm 紙質：四半紙

◆ 申し込み先：市編集課 申し込み先：市編集課

◆ 申し込み先：市編集課 申し込み先：市編集課

◆ 申し込み先：市編集課 申し込み先：市編集課

◆ 申し込み先：市編集課 申し込み先：市編集課

## “おかげさまで50,000加入となりました!”

昭和25年に宇治電報電話局が誕生してから29年目、市民の皆様方のご理解とご協力で電話加入数が、54年12月で5万加入となりました。厚く御礼申し上げます。今後とも地域に密着したよりよい電報・電話サービスの向上をめざし、地域社会の一層の発展に少しでもお役に立ちたいと考えておりますので、一層のご支援をお願いいたします。

「オメデトウ」の祝電は、3~10日前のお申し込みですと =150円= 割引になります。

## 宇治の電話の歩み

- ★明治42年2月1日 電話の始まり 宇治郵便局で電話交換業務開催。(43加入)
- ★昭和25年10月1日 宇治電報電話局の誕生 二省分割に伴い通信省から分離して宇治電報電話局となる。(約400加入)
- ★昭和36年7月9日 宇治局自動化 木幡・新田局新築のうえ自動化(約1,200加入)
- ★昭和43年1月28日 局番二桁化 加入数の増加に伴い二桁化(約6,900加入)
- ★昭和54年12月 50,000加入突破!

宇治電報電話局





